

姫路

火事や事故の速報、写真・映像提供、身近な話題、生活情報を下記へご連絡ください。

■姫路支社■

〒670-0964
姫路市豊沢町78
編集部 TEL:079-281-1125
FAX:079-281-9277
e-mail:himeji@kobe-np.co.jp
営業部 TEL:079-281-1124
業務部 TEL:079-281-1122

■神崎支局

TEL:0790-22-0045
FAX:0790-22-6659

読者サポートセンター (月～土)
TEL:078-362-7056 (10:00～17:30)

神戸新聞
平成23年5月2日(月)

被災地撮影の350枚展示

写真館経営・石田さんチャリティー

先月、宮城で支援活動

姫路市本町の雑貨店「R(レール)」で1日、東日本大震災のチャリティー写真展が始まった。隣接する写真館「ism(イズム)」の石田直之さん(38)が、宮城県石巻市と東松島市、女川町で撮影した約350枚を展示している。石田さんは4月18～21日、泥かきなどのボランティアのため、友人と被災地入り。移動の車中など、作業の合間を縫って写真を撮った。道路脇のがれきの山や倉庫の上に取り残された車、持ち主が分からず集められた写真の山。約50枚をパネルにし、残り

はアルバムの形で展示する。石田さんは「写真を

姫路の雑貨店

見ていると、被災地の様子を写した写真展＝姫路市本町



倒壊した民家など被災地の様子を写した写真展＝姫路市本町

朝日新聞 平成23年5月20日(金)

震災支援写真で訴え

姫路市本町の写真店「ism」を経営する石田直之さん(38)が、宮城県内で撮影した東日本大震災の被災地の写真を、併設の雑貨店「R」で展示している。題は「はじまり」。展示を見た人が、被災地を継続的に支援する始まりにしてほしい、との思いを込めた。

石田さんが姫路で展示 31日まで



石田直之さん

東日本大震災

石田さんは、4月18～21日に友人ら9人で宮城県に入った。同県石巻市を拠点に、東松島市で2日間、民家やグループホームに流れ込んだ泥を外へかき出すボランティアをした。作業の合間には、「カマラン」としてできることを

津波被害生々しく

写真の中には、東松島市でボランティアをしたグループホームの裏で折れた桜を写したものがある。現地では桜が満開。折れながらも力強く咲いていた姿が印象に残り、被災したひとたちも、この桜のようにもう一度咲いてほしいという願いを重ねたという。石田さんは「身近なところで起きた阪神大震災でも時間とともに記憶は薄れていったと思う。展示を見ることで震災を忘れることなく、無理なくできる支援を続けてほしい」と話す。

折れてもたくましく咲いていた桜。民家に押し寄せた泥を片づけるボランティアたち。いずれも4月20日、宮城県東松島市、石田直之さん撮影



壁面にある約50枚のほか、アルバムにした約300枚を見ることが出来る。無料。31日まで開催し、水曜と24日は休み。問い合わせは雑貨店「R」(079・280・868)へ。